

## 事業概況

### エレクトロニクス ビジネスセンター



#### 事業内容

電子キーシステム用の携帯機、レシーバー、アンテナ、コントローラーなどの構成部品、電源ECU、イモビライザーECUなどのECU、カスタムIC、各種センサーなどが主力製品です。

従来はパワーウィンドウスイッチやステアリングロックなどの製品の中にECUを組み込むメカトロニクス用ECUが主力でしたが、車両の電子化が進む中、ECU単独の製品が増加しています。

#### 強み

1994年に世界初の電子式イモビライザーシステムを、1999年に日本初の電子キーシステムを製品化した当社は、エレクトロニクス製品に不可欠な通信暗号技術を持っています。

また、1980年より汎用でないカスタムICを独自で設計・生産しています。

### HMI ビジネスセンター



#### 事業内容

ステアリング周りのレバーコンビネーションスイッチ、ステアリングスイッチ、インパネ周りのヒーターコントロールスイッチ、プッシュスタートスイッチなどが主力製品です。

スイッチ類は、当社の売上げの約半分を占める主力製品であります。最もコモディティ化が進んでおり、中国企業をはじめとする低コストを生業とした企業との競争激化に晒されています。

#### 強み

人間工学に基づき、ドライビングシミュレータやモーションキャプチャの結果から性別、年齢、体格などを考慮した精緻な設計指針を実現し、客観的かつ定量的な評価から、「心地よさ」を追求しています。

また、ドライバーの意思や行動を情報として読み取る入力センシング技術、クルマから受け取る情報が限られた中でドライバーの意思に伝える入力フィードバック技術もあります。

### セキュリティ ビジネスセンター



#### 事業内容

シフトレバー、アウターミラーなどが主力製品です。シフトレバーは2003年に製品化されたシフトバイワイヤセレクター、アウターミラーは2018年に製品化されたデジタルアウターミラーのようにバイワイヤ化、デジタル化されたものが増えてきています。

従来の機械式の製品は競争力確保のため、部品共通化、構造の簡素化を進めています。

#### 強み

シフトレバーはいち早くバイワイヤ化に対応し、競争力を確保し、国内1位のシェアを確保しています。

アウターミラーは意匠、機能、法規対応を要求される高難度な製品であるにも関わらず、1981年の生産開始以来生産を続け、高機能の製品を提供し続けています。

### セイフティ ビジネスセンター



#### 事業内容

シートベルトが主力製品であり、1962年の2点式シートベルトの生産から始まり、高性能・高機能のシートベルトを開発し、乗員保護性能の向上に貢献してきました。

性能が乗員の生命に直結する製品なので、万が一の際に確実な性能を確保するための品質確保が不可欠です。

#### 強み

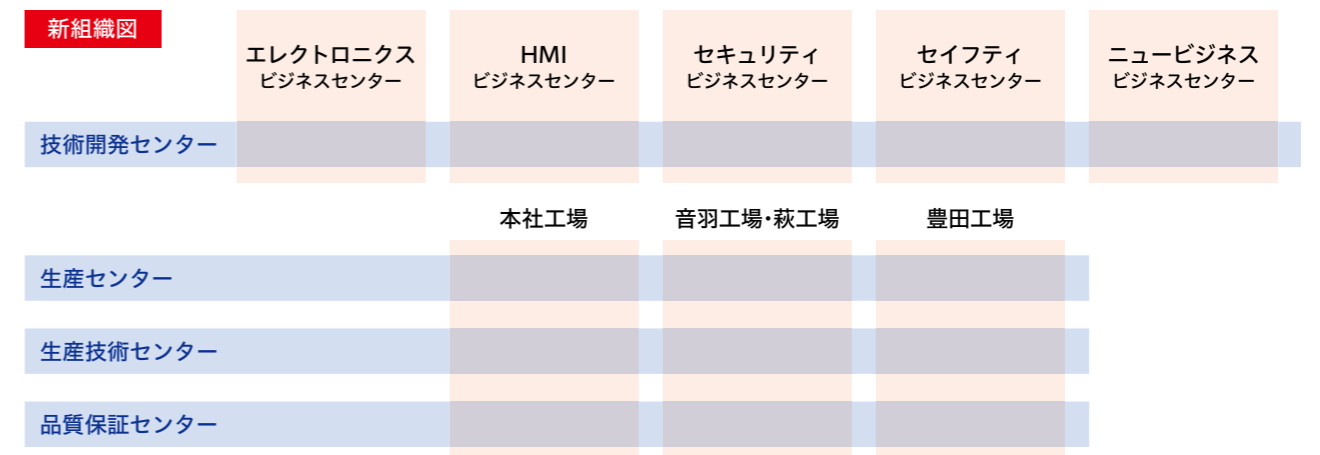
性能確認のためにインパクトスレッド試験を繰り返し、CAEによるシミュレーションと併用し年々上がり続ける要求性能を達成しています。

小さな子どもから高齢者に至るまで、安全性を高めるシートベルト技術の向上に、日々取り組んでいます。

## 事業部体制から ビジネス領域へ再編

開発体制を各ビジネス領域に再編し、5つのビジネスセンターを新設しました。

また、各工場をビジネスセンターから切り離し、生産センター直轄とし、最適な生産地決定を担うようにし、全社モノづくり戦略の司令塔機能として「グローバル生産技術部」を新設しました。



## ニュービジネス ビジネスセンター

### 事業内容

顧客・地域・社会課題の解決をミッションとして活動を展開しています。

主力のデジタルキー事業は、モビリティ領域において、レンタカーやカーシェアリング事業者さま、社用車保有企業さまなどから好評をいただいています。市場のニーズを素早く製品にフィードバックし、スピード感を持って多くのお客さまに届けていきます。

### 強み

社会課題を紐解き、ビジネスモデルを構築し、マーケティング、セールス活動の中で得た市場のニーズを素早く製品にフィードバックするために、ニュービジネスマーケティング部とニュービジネス開発部が一体となって即断即決で取り組んでいます。

### 取り組み内容

デジタルキーについては、モビリティ領域から、住宅キー、また、河村電器産業との協業である宅配ボックスやEV充電設備との連携など、住宅・空間領域への拡大をめざし、よりお客さまに付加価値のあるサービスを提供できるよう積極的な活動を展開しています。

また、マグネシウム鋳造やセンサー・半導体などの分野で培われてきた東海理化の既存技術の、新しい業界への領域拡大を進めています。

既存技術の一つ、振動フィードバック技術(ハプティクス)を応用したデジタル教材は学研教育みらいと共同開発中です。同じくハプティクスを応用した視覚障がい者向け歩行支援デバイスは、事業の立ち上げに奔走する従業員の様子がテレビ東京で紹介されました。

シートベルト端材を活用したカバンなどのアップサイクル商品も方々で紹介・売込みを行っています。

これらによりコンシューマー市場への参入に挑戦していきます。

